

平成 28 年 12 月 9 日

各 位

住 所 東京都渋谷区桜丘町 26 番1号  
 (本社事務所 東京都渋谷区道玄坂1丁目 16 番3号)  
 会 社 名 GMO アドパートナーズ株式会社  
 代 表 者 代表取締役社長 橋 口 誠  
 (コード番号 4784 JASDAQ)  
 問い合わせ先 取締役 森竹 正明  
 T E L 03-5728-7900  
 U R L <http://www.gmo-ap.jp/>

### 通期業績予想及び配当予想の修正に関するお知らせ

当社は、平成 28 年 12 月 9 日開催の当社取締役会において、最近の業績動向を踏まえ、平成 28 年 12 月期(平成 28 年1月1日～平成 28 年 12 月 31 日)の通期業績予想及び1株当たり配当予想を以下のとおり修正することを決議いたしましたので、お知らせいたします。

#### 1. 通期業績予想の修正について

##### (1) 当期の業績予想数値の修正(平成 28 年1月1日～平成 28 年 12 月 31 日)

	連結売上高	連結営業利益	連結経常利益	親会社株主に帰属 する当期純利益	1株当たり連結 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	31,000	745	780	330	20.11
今回修正予想(B)	30,000	480	485	115	7.00
増減額(B - A)	△1,000	△265	△295	△215	
増減率(%)	△3.2%	△35.6%	△37.8%	△65.2%	
(参考)前年連結実績 (平成 27 年 12 月期)	28,111	297	389	△100	△6.15

## (2) 修正の理由

GMO アドパートナーズグループでは、前期を投資の年と定め、当期においてはその果実を獲得すべく事業に取り組んでまいりました。エージェンシー事業においては組織拡大を進め、ソーシャル広告の取組を強化し、売上・売上総利益とも順調に成長いたしました。メディア・アドテク事業においてはアドテクノロジーを駆使した商材開発を強化しており、その成果としてインフィード広告が好調に推移しております。しかしながら、スモールビジネス向けの既存自社商材の一部が広告表示の仕様変更により、当初見込みを下回る水準で推移をいたしました。また、本日「連結子会社株式の異動(株式譲渡)を伴う事業再編及び特別損失の計上に関するお知らせ」の件名で開示をしておりますとおり、GMO Concierge Co. Ltdが当期において同社の計画を大きく下回る水準で推移したため、当初業績見込みを達成することは困難と判断いたしました。

また、本日「連結子会社株式の異動(株式譲渡)を伴う事業再編及び特別損失の計上に関するお知らせ」の件名で開示をしておりますとおり、GMO Concierge Co. Ltdの株式譲渡にあたり、特別損失を計上する見込みです。なお、本件株式譲渡により、GMO Concierge Co. Ltdは当社連結グループの連結対象から除外されます。

以上により、本稿(1)に記載のとおり、通期業績予想を修正いたします。

## 2. 平成 28 年 12 月期の1株当たりの配当予想の修正について

## (1) 修正の内容

	1株当たり配当額				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	第4四半期末	合計
前回予想	円 銭 -	円 銭 -	円 銭 -	円 銭 10.00	円 銭 10.00
今回修正予想	-	-	-	3.50	3.50
当期実績	0.00	0.00	0.00	-	-
前期実績 (平成 27 年 12 月期)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00

## (2) 修正の理由

当社は、株主様に対する利益還元を重要な経営課題の一つとして認識しており、各事業年度の業績および企業体質の強化と今後の事業展開を総合的に勘案した上で、連結ベースの配当性向 50%を

目標に安定した配当を継続して行うことを基本方針としております。

前回発表予想では、本稿2の(1)に記載のとおりとさせていただいておりましたが、この度、本稿1に記載の業績予想の修正に伴い、一株当たり配当予想の額につき修正をいたします。

今後も株主様に対する利益還元については上記基本方針を堅持し、業績の拡大に取り組んでまいります。

以上